

Japan Evangelical Theological Society

# 日本福音主義神学会

J·E·T·S·NEWS Vol.37

発行所／ 460-0022 愛知県名古屋市中区金山2丁目1-3 東海聖書神学塾内  
学会サイト・アクセス <http://evangelical-theology.jp>

## 「群盲評象」の故事に学び、有意義な全国研究会議を

全国理事長 大坂 太郎

北緯一度の南の島にある、多言語が飛び交う神学校を卒業して20年の月日が流れた。「光陰矢のごとし」と言うほかない。畢竟人間とは忘れる生きものであり、その頃学んだものの多くは恥ずかしいことだが期末試験と共に恩師にお返ししてしまったが、鮮明に覚えていることも少しはある。その一つが表題の故事、「群盲評象」である。

ある王が6人の盲人を呼び、彼らに一頭の象を触れさせた後、感想を述べさせた。足を触った者は「柱のようだ」といい、尾を触った者は「いや綱に似た感じがした」と答えた。鼻を触った者は「木の枝のようだ」と主張し、耳を触った者は「いいえ、薄っぺらく扇みたいだ」と力説した。腹を撫ぜた者は「何か壁みたいだ」と語り、牙を触った者は「いやいやパイプみたいだ」と反論した。六人の口角泡飛ばす侃々諤々の議論に割って入り、王はこう言った。「あなた方は皆、正しい。あなた方の話が食い違っているのは、あなた方が象の異なる部分を触っているからだ。象はあなた方の言う特徴を、全て備えているのだ。」組織神学の最初の講義で恩師はこの故事を引き、「神学研究とはこの故事に通じ

るところがある。研究の対象が天地の造り主なる神である以上、被造物である我々が探索できる範囲はごく小さいということを謙虚に認めねばならない。また他者の知見に謙虚に耳を傾け、総体的な理解に努めていく必要がある。自らの教派伝統を墨守することに汲々とするだけではいけない」と言われたのだ。ずっと背筋が伸びた感じがしたのをよく覚えている。

来る11月4日(火)～6日(木)まで関西聖書学院(奈良県生駒市)を会場にして第14回の全国研究会議が開催される。総テーマは「福音主義神学、その行くべき方向—聖書信仰と福音主義神学の未来—」である。当学会のウェブサイトでは既に発題者からのレジュメがアップロードされている。是非ご一読頂き、積極的に研究会に参加して頂きたい。あの故事のように、皆で体験を分かち合い、学術的且つ建徳的なディスカッションを通し、共に福音主義神学の未来を拓き、教会に仕えていきたいと願ってやまない。

(日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団  
ベテルキリスト教会牧師)

## ◆各地区部会報告◆

## 東部部会報告

## 1. 理事会の構成

- ◎役員理事：理事長：大坂太郎  
書記：岡村直樹  
会計：岩上敬人
- ◎学会誌：木内伸嘉、三好明
- ◎部門理事：聖書神学：内田和彦  
歴史神学：丸山悟司  
組織神学：渡辺聡、岡村直樹  
実践神学：福井誠

## 2. 研究会・講演会

春期研究会：2013年6月18日(月)  
(お茶の水クリスチャンセンター)

- 主題：「福音主義とは何か#1」  
発題1：青木保憲氏(京都中央チャペル)  
「アメリカ福音派研究の実際」  
発題2：藤本満氏(インマヌエル光津教会)  
「福音主義の特色」  
コーディネーター：丸山理事

秋期研究会：2013年11月18日(月)  
(お茶の水クリスチャンセンター)

- 主題：「福音主義とは何か#2」  
発題1：中村敏氏(新潟聖書学院院長)  
「日本キリスト教史における福音主義」  
発題2：山口陽一氏  
(東京基督教大学大学院研究科委員長)  
「戦後の"福音派"とは何か」  
コーディネーター：関野理事

## 3. 会員異動

〈入会〉正会員：児玉武志氏、加藤裕一氏、富田雄治氏  
(現在：正会員129名、準会員5名、賛助会員10団体)

## 中部部会報告

## 1. 理事会構成

- ◎役員理事：理事長：山崎ランサム和彦  
書記：関昌宏  
会計：池上泉
- ◎学会誌：壇原久由
- ◎広報：東正明
- ◎理事：田中忍

## 2. 研究会・講演会

春期公開講演会 2013年5月13日(月)  
(金山キリスト教会)

- 主題：「ルターの説教と牧会に学ぶ」  
講師：田上篤志氏  
(日本イエス・キリスト教団服部喜望教会牧師)

秋季研究発表会 2013年11月11日(月)  
(金山キリスト教会)

- 主題：「エイレナイオスの聖霊理解の一側面」  
発表者：大庭貴宣氏  
(日本長老教会北四日市キリスト教会牧師)

## 3. 中部部会会報 第14号

- 山崎ランサム和彦氏「巻頭言」  
田上篤志氏「ルターの説教と牧会に学ぶ」  
大庭貴宣氏「エイレナイオスの聖霊理解の一側面」  
山崎ランサム和彦氏「現代に語りかける黙示録」  
松浦剛氏「アウグスティヌスとは誰なのか」  
関昌宏氏「ルター派の礼拝について」

## 4. 会員異動

〈退会〉水上勲氏、中村孝氏、森下信義氏  
(現在：正会員27名、賛助会員1団体)

## 西部部会報告

## 1. 理事会構成

- ◎役員理事：理事長：正木牧人  
書記：岸本大樹  
会計：鎌野直人
- ◎学会誌：安黒務、坂井純人
- ◎理事：石崎伸二、大田裕作、金井由嗣、杉貴生、  
瀧浦滋

## 2. 研究会・講演会

春期研究会議 2013年4月15日(月)  
(関西聖書神学校)

- テーマ：「私たちにとっての三位一体論」  
講演1：金井由嗣氏(日本イエス・キリスト教団  
千里聖三一教会牧師、関西聖書神学校講師)  
「三位一体論をどう理解してきたか？  
～アウグスティヌスの三位一体論の今日的意義～」  
講演2：坂井純人氏(改革長老教会東須磨教会牧師、  
神戸神学館教師、神戸改革派神学校講師)  
「私たちの三位一体論  
～今日の三位一体論の問いかけに答えて～」

九州地区講演会 2013年6月3日(月)  
(日本バプテスト連盟・博多キリスト教会)

- テーマ：「信仰継承  
—300年先を考えた教会形成を—」

講師：藤原淳賀氏(聖学院大学教授、  
日本バプテスト連盟・恵約宣教伝道所牧師)

秋季研究会議 2013年11月18日(月)  
(関西聖書学院)

- テーマ：「福音主義神学の基盤を点検する  
—今後の営みに向けて—」

講演：市川康則氏(神戸改革派神学校校長)  
「福音主義神学の基盤を点検する」

応答講演：青木保憲氏、横田法路氏、遠藤克則氏

## 3. 会員異動

〈入会〉正会員：池口留都氏、児玉剛氏、松尾献氏、  
日山かおる氏、鶴岡徹也氏、荒川聖志氏、  
緒方賢一氏、中林大介氏、広田信也氏、  
武田満氏、正田真次氏

(現在：正会員149名、準会員2名、賛助会員12団体)

## 学会誌報告

1. 学会誌編集委員：安黒務（編集長）、木内伸嘉、坂井純人、檀原久由、三好明

## 2. 第45号特集テーマ：

「福音主義神学、その行くべき方向」

執筆予定者：安黒務氏（巻頭言）、青木保憲氏、伊藤明生氏、リチャード・ギャンブル氏、関 智征氏、関野祐二氏、竹内茂夫氏、津村俊夫氏、山崎ランサム和彦氏

## ◆ 全国理事会及び全国研究会議準備委員会議事録 ◆

日 時：2014年6月2日（月） 10:00 - 14:00

場 所：名古屋国鉄会館会議室 7階ひかり

出席者：（敬称略・五十音順）

- ・ 東部：大坂太郎（理事長）、岡村直樹（全国研究会議東部委員）
- ・ 中部：佐々木保雄（全国書記）、壇原久由（学会誌書記）、山崎ランサム和彦（理事長、全国研究会議中部委員）
- ・ 西部：安黒務（学会誌編集長、全国研究会議準備委員長）、鎌野直人（全国会計）、滝浦滋（全国研究会議書記）、正木牧人（理事長、全国理事長）以上9名

### I. 全国理事会 10:00 - 11:30

司会：正木牧人全国理事長

■開会の御言葉と祈り（正木氏）

テトス2章11～15節

■報告：

1. 全国理事会（佐々木氏）前回議事録により報告、承認。
2. 各分会報告
  - ・ 東部（大坂氏）2014年度東部分会総会資料により報告、承認。
  - ・ 中部（山崎ランサム氏）2014年度中部分会総会資料により報告、承認。
  - ・ 西部（正木氏）2014年度西部分会総会資料により報告、承認。
3. 学会誌（壇原氏）資料により報告、承認。
4. 全国会計（鎌野氏）資料により報告、承認。
5. JETSニュース（佐々木氏）第36号発行。

■審議：

1. 役員構成を以下の通り承認した。
  - ・ 全国理事長：本理事会後より、大坂太郎氏（東部）
  - ・ 全国書記：山崎ランサム和彦氏（中部）
  - ・ 全国会計：鎌野直人氏（西部）
2. 学会誌（壇原氏、安黒氏）：
  - ・ 将来的に電子版の出版を検討中。
3. JETSニュース（昼食後に審議）：
  - ・ 締切：7月末
  - ・ 作成担当者（各分会報告を含む）：山崎ランサム氏
  - ・ 巻頭言：大坂太郎新全国理事長
  - ・ 今号よりニュース紙上で献金のアピールを掲載することが決議された。
4. 西部分会からの規約改正案については、継続審議。
5. 会員名簿作成の進捗状況についても、継続審議。
6. 2014年度全国会計予算審議案（鎌野氏）。

原案通り承認された。

### 7. 全国理事会の出席者について：

- ・ 来年度：東部理事長、中部理事長、西部理事長、学会誌担当者、全国書記、全国会計、全国研究会議準備委員長（兼任可）とすることが決議された。
  - ・ それ以後の年の出席者については継続審議とした。
- ### 8. 第14回全国研究会議についての議事の整理（下記参照）
- ### 9. 今後の全国研究会議の運転資金について：
- ・ 開催年の前年度予算に10万円を計上する案は、継続審議となった。
  - ・ 今年度予算には計上せず（上記6参照）。
- ### 10. その他、全国研究会議に関するブレインストーミングを行った。

■閉会の祈り：佐々木保雄氏

（昼食 11:30 - 12:10）

### II. 全国研究会議準備委員会 12:10 - 14:00

司会：大坂太郎新全国理事長

■審議

#### 1. 会計について：

- ・ 全国研究会議は原則として独立採算で行い、担当分会会計（今回は西部）に黒字になった場合は入り、赤字の場合は負担とすることが決議された。
- ・ 全国研究会議で献金をすることが可能であること、今回実施するかどうかは担当の西部分会に一任することが決議された。

#### 2. 動員について：

- ・ 各種案内を奨励することが決議された。

#### 3. プログラムについて：

- ・ 司会等の選定は実務委員会に一任することが承認された。

#### 4. その他、会議の内容等について意見交換が行われた。

#### 5. 次回全国理事会予定

- ・ 2015年6月1日（月）10:00-13:00  
名古屋国鉄会館会議室 7階ひかり

■祈り：安黒務氏

## 日本福音主義神学会 全国 会計

## 2013年度決算報告 および 2014予算

収入の部			
項 目	2013年度予算	2013年度決算	2014年度予算
東部分担金	350,000	350,000	350,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	400,000	400,000	400,000
学会誌売上	100,000	64,110	100,000
広告収入	150,000	110,000	150,000
献 金	0	0	0
雑収入	0	0	0
前年度繰越	911,840	911,840	850,697
合 計	1,981,840	1,905,950	1,920,697

支出の部			
項 目	2013年度予算	2013年度決算	2014年度予算
学会誌出版費	800,000	800,000	800,000
全国理事会費	150,000	120,558	150,000
事務通信費	10,000	420	10,000
ニュース発行費	35,000	34,275	35,000
研究助成費	50,000	0	50,000
全国研究会議費	100,000	100,000	0
名簿作成費	0	0	0
雑費・予備費	836,840	0	875,697
次年度繰越	0	850,697	0
合 計	1,981,840	1,905,950	1,920,697

総 計		現 在 額	
項 目	金 額	項 目	金 額
出版基金	1,208,421	郵便振替	2,059,118
次年度繰越	850,697	現 金	0
合 計	2,059,118	合 計	2,059,118

日本福音主義神学会の活動のさらなる発展のために、献金をお願いいたします。

郵便振替口座 01140-6-32221 「日本福音主義神学会」

日本福音主義神学会ニュース

2014年8月1日発行

発 行 日本福音主義神学会

編 集 山崎ランサム和彦

印 刷 (株)プレイズ出版